

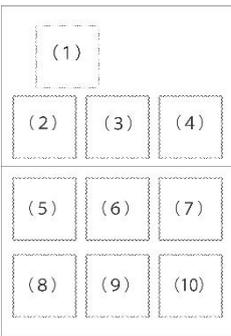
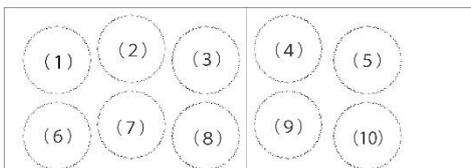
2024年12月11日
日本郵便株式会社

特殊切手「おいしいにっぽんシリーズ 第6集」の発行

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 千田 哲也）は、日本の食をテーマとした特殊切手「おいしいにっぽんシリーズ 第6集」を発行します。

第6集では大阪の食を取り上げています。

1 発行する郵便切手の内容

名称	おいしいにっぽんシリーズ 第6集	
発行日	2025年2月12日（水） ^{（注1）}	
種類	85円郵便切手（シール式）	110円郵便切手（シール式）
切手画像	別紙のとおり	
シート構成・意匠	 <p>(1) インスタントラーメン、ポット (2) たこ焼き (3) 豚まん、からし、アイスクャンデー (4) ビーフカツサンドウィッチ、ミックスジュース (5) アイスもなか、コーヒー (6) いか焼き、ひやしあめ (7) せんべい、飴 (8) 高麗餅 (9) おこし、みたらし団子 (10) くるみ餅、お茶、昆布</p>	 <p>(1) 箱寿司 (2) かやくご飯・船場汁 (3) きつねうどん (4) 肉吸い・玉子かけごはん (5) お好み焼き (6) 泉州水なすの漬物・鱧ちり (7) てっちり (8) 名物カレー (9) ホルモン・焼肉 (10) 串カツ</p>
売価	850円（シート単位で販売します。）	1,100円（シート単位で販売します。）
小切・印面寸法	縦 25.5 mm × 横 25.5 mm	直径 27.0 mm
シート寸法	縦 135.0mm × 横 93.5mm	縦 67.5mm × 横 187.0mm
助言・監修	東四柳 祥子（梅花女子大学食文化学部 教授） 株式会社マガジンハウス BRUTUS編集部	
切手デザイン	吉川 亜有美（切手デザイナー）	
版式刷色	オフセット6色	

発行枚数	800万枚（80万シート）	2,000万枚（200万シート）
販売場所	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の郵便局など^{（注2）} ・郵便局のネットショップ内「切手・はがきストア」^{（注3）} ・銀座郵便局での通常払込みによる通信販売 	

2 発行する郵便切手のデザインについて

日本各地には、その土地に根差した独自の食文化が息づいています。先人たちの知恵の集積である多種多様な郷土料理のみならず、地域の自然環境の中で育まれた食材や調理道具のバラエティもまた日本の食文化を彩る魅力と言えるでしょう。本シリーズでは、各集で一つの地域を取り上げ、その土地の食の定番に着目し、主に料理、菓子、食材、土産などをデザインします。

第6集のテーマは、大阪です。85円シートでは、大阪で長く愛されている伝統菓子、軽食を取り上げ、裏面にはソウルフードの代表格・たこ焼きを描きました。110円シートでは、おなじみの郷土料理の世界をモチーフとし、裏面には多彩な串カツを優しいタッチでデザインしました。

古くより経済の中心地として、大陸からの渡来人を受け入れる窓口的役割を担っていた大阪。特に「天下の台所」と呼ばれた江戸時代には、他に類を見ない「商都」として注目され、全国から多くの食材が集まる活気に満ち溢れていました。またこの時に北海道から運び込まれた昆布は、大阪のだし文化醸成のきっかけになりました。

一方、大阪は昔から海の幸にも恵まれ、魚介料理も豊富です。さらに、良質の小麦の産地という地の利を生かして編み出された種々の粉もん料理（お好み焼き、たこ焼き、いか焼き、串カツ、うどんなど）は、今や国内外でそのおいしさが称賛されています。また船場汁に代表されるように、食材を余すところなく活用する「始末の料理」という発想も、大阪ならではの工夫として見逃せません。他にも諸外国の味をアレンジしたアイスキャンデーやアイスもなか、名物カレー、ビーフカツサンドウィッチ、インスタントラーメン、豚まんなどの手軽なメニューに加え、多くの家電メーカーやタオルメーカーが生まれていることから、大阪は日本の台所文化を支える重要な役割を果たしてきたことが分かります。

さらに、大阪の食文化を語る上で忘れてはならないのは、さまざまな文化の受け入れ口でありながら、いつも地域の食材や「人」を思いやる心があるところです。効率を重んじながらも、「おいしいなあ」とほころぶ笑顔を求めて発展してきた食の歩みが、「食い倒れの街・大阪」の精神を支えてきました。目の前の相手をおもんばかり、種々の料理や名物を創案した先人たちの想いの再考に励むことも、令和を生きる私たちに課せられた使命といえるでしょう。

3 その他

通信販売などの販売概要、郵趣のための記念押印サービスについては、弊社 Web サイトでお知らせします。

【注釈】

（注1）切手の販売は、発行日の午前9時からとなります。

（注2）一部の郵便局においては、お取り寄せとなる場合があります。
売り切れる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

（注3）郵便局のネットショップ内「切手・はがきストア」への掲載は、2025年2月12日（水）の予定です。

以上